

英語教育専修

授業科目名	担当者	講義概要
学校教育論	岡谷英明	現代学校の課程を理論的に解明することを目的とする。変貌する社会の中で教育システムがどのように編成されるべきかを考える。
学校経営論	平井貴美代	学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項について学習するとともに、開かれた学校づくりや学級崩壊など、最近とくに話題となっている問題についてアプローチするための視点や方法を検討する。 テキスト使用：『新版 学校教育の基礎知識』（協同出版）
生徒指導論	高柳真人	児童・生徒の自己指導能力を育てながら、その自己実現を援助するというガイダンスの視点に立った生徒指導を進めていくための理論や方法について学ぶ。
学習指導論	馬場園陽一	自ら学ぶ意欲や考える力の育成を目指す授業の方法、一人一人の児童生徒の良さを生かす授業の方法、さらにはこれらの力の育成を目指した教育評価の方法について、その理論的側面を探り、学習指導への実践的なアプローチを試みる。また、新しい学力観のもとで実践されている様々な授業方法（例えば、体験学習、総合学習、問題解決的学習、コース別学習、T・T等）についても紹介し、学力形成との関係を論じる。
教育相談論	金山元春	教育相談は、人間関係の営みの中で行われる実践活動である。本授業では、受講生の人間関係能力の開発を通じて、教育相談の実践力の向上をはかる。具体的には、グループワークを活用し、自己理解、他者理解を深めたり、社会的スキルを学んだりする機会を提供する。講義については、実践経験豊富な研究者あるいは実務家でありながら学会等で活躍されている方の研究成果を上げる。
情報演習Ⅰ	中西 秀男	高度情報化社会に積極的に対応できる情報処理の基礎能力を身に付けた教員の養成を目的として、コンピュータとソフトウェアの基本操作並びにネットワークの利用方法に関する演習を行う。情報演習Ⅰでは、Windowsの基礎、電子メール、文書処理及び表計算などよく利用される機能を中心に基本操作に重点を置いて演習する。
情報演習Ⅱ	赤松 直	ある程度習熟した人を対象に、コンピュータの活用能力、情報処理に関する総合力を身に付けることを目的として演習を行う。内容は、ネットワークの設定およびその基礎知識の習得、ホームページ作成、各種ソフトウェアの活用などである。これらを通して、情報化社会の課題や情報リテラシー教育についても一緒に考えることにする。自前のノートパソコンを携行願いたい。
英語教育特論Ⅰ	那須恒夫	第二言語及び外国語としての英語教育の目標や目的、内容、指導法に関する研究成果をふまえ、英語教育の諸問題を総合的に、かつ、理論的に考察、検討する。
英語教育特論演習Ⅰ	那須恒夫	第二言語及び外国語としての英語教育の目標や目的、内容、指導法に関する研究成果をふまえ、教材開発や指導法の改善を含めて英語の授業において有効に機能する教授・学習原理について理論的に、かつ実践的に考察、検討する。
英語教育特論Ⅱ	多良静也	英語の「授業分析研究」に関する国内外の最新論文の研究結果を踏まえ、英語教育に関する専門知識の理解を深め、英語授業の在り方を総合的に考察していく。
英語教育特論演習Ⅱ	多良静也	現在英語教育が抱える諸問題を広く検討し、その中から特定のテーマを選定し、その問題の背後に潜む要因を科学的実証的手法を用いて検討する。
英語学特論Ⅰ	谷口雅基	英語音声の理論を研究すると共に日本人の英語コミュニケーション能力の向上の為にその理論を如何に応用すべきかについて考察する。研究項目は、個々の音声、連音、リズム、イントネーションに留まらず、可能な限り音声学と統語論、意味論、実用論、コミュニケーション論等との関連にも及ぶ。

## 英語教育専修

授業科目名	担当者	講義概要
英語学特論演習Ⅰ	谷口雅基	英語の音声、リズム、イントネーションにおける種々の現象を考察し、日本人向けの教育改善法を考究する。音声表記、調音法、調音部位、母子音の分類、音素と異音、R-リエーション、強母音と弱母音、成節子音、同化、平準化、音省略、文節、強勢、リズム、イントネーション、音声教育法等についての学生による主体的研究発表を指導する。
英語学特論Ⅱ	松原史典	英語学の定義及びその体系を紹介する。特に英語学における統語論及び意味論に焦点を当て、それぞれの分野で主流とされる諸理論を概観し、それらが様々な言語現象に対して、どのような説明法を与えるのかを考察する。同時に、文構造とその意味とがどのような相互関係を成すのかを明確にする。
英語学特論演習Ⅱ	松原史典	英語学における統語論の応用を目指す。統語論において近年最も主流とされる生成文法の習得に焦点を当て、ミニマリスト・プログラムの応用とその問題点を明らかにする。また、ミニマリスト・プログラムに基づいた言語現象の解明を目標とする。そのため、多くの研究論文を精読し、それらの問題点を指摘するとともに、代案を提示するという過程を実践する。
英米文学特論	小比賀香苗	19世紀～20世紀におけるイギリス文学史上の重要な位置を占める小説家の主要作品を取り上げて、その特質やこれまでの研究史を整理確認するとともに、文学思潮上の位置や役割を再構築するべく、小説の方法と認識の方法などの観点からの考察を手がかりに、小説研究の視点や方法論について考究する。
英米文学特論演習	小比賀香苗	英米文特論で取り扱った小説世界を、多角的に拡大し深く考察するために、関係者や関連作家の文言や作品と比較検討し、さらに研究書や批評書や関連書を取り上げて、小説家の世界観と関わる小説の方法と認識の方法から構築されている磁場を検証する。
英語教育実践研究Ⅰ	那須・多良	英語教育における研究成果をふまえて、附属校園での授業研究を基に、教材開発、教材研究、指導法等について、理論的に研究することを指導する。
英語教育実践研究Ⅱ	小比賀・谷口・松原	附属校園等で行われている授業の記録・観察及び授業資料の研究などを通じて、英語の授業のあり方や教材開発を、院生の専門領域を生かして、実践的に研究することを指導する。
英語教育実践研究Ⅰ（長期インターンシップ）	那須・多良・小比賀・谷口・松原	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子どもとのふれあいにもとづく単元計画作成、または、LD、ADHD、不登校、乳幼児等子どもの観察にもとづく実習計画作成を行い、実践的な課題研究テーマ設定の基盤を形成する。さらに、単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または、事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法に基づき省察することを通して、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。
英語教育実践研究Ⅱ（長期インターンシップ）	那須・多良・小比賀・谷口・松原	各自の研究課題を設定し、その研究計画に従って高度な専門的知識の育成を図るとともに、院生自らが主体的に研究する能力を開発し、研究内容の集大成を目指すよう指導する。
課題研究	小比賀・谷口・那須	各自の研究課題を設定し、その研究計画に従って高度な専門的知識の育成を図るとともに、院生自らが主体的に研究する能力を開発し、研究内容の集大成を目指すよう指導する。